

どんでん 11.1.0

【解説】

「どんでん」は、「菱棚」を360度回転出来るようにしたパズルです。

10×10に並んでいる100個のブロックを全て消してください。ブロックは5色あって、同じ色のブロックが複数隣接していれば、それらをまとめて消す事が出来ます。消えたブロックの上に乗っていたブロックは落下します。

ブロック全体を左右に90度単位で回転する事が可能です。その結果下が空いたブロックも落下します。

全てのブロックを消した時には「完成」と表示します。全ての色のブロックが1個以下になった時は、それ以上消す事が出来ないので「惜しい」と表示します。これ以外の状況で手詰まりになった場合は失敗となります。

得点は消したブロックの数の二乗で、回転すると1点減点されます。

「どんでん」や「菱棚」の基本ルールは、もりすけさん作の「ChainShot!」のルールをアレンジした物です。「ChainShot!」のルールのゲームは、一般には「さめがめ」として知られていて、Macの世界では高橋健さん作の「まきがめ」が定番になっています。

ブロックの消え方は、基本的には「まきがめ（さめがめ）」と同じですが、縦1列が全て消えてもブロックが横に移動する事はありません。

【操作】

起動するとUnityPlayerの設定画面になります。

Screen resolution：リストからウインドウサイズを選びます。640×480が標準で、ここで 4:3 以外の縦横比のサイズを選んだ場合はウインドウ内に余白が発生します。

Windowed：このチェックを外すとフルスクリーン表示になりますが、この際は実際の画面と同じ縦横比のサイズを選ばないと表示が歪みます。

Graphics Quality：表示品質を選びますが、“High”が標準で、変更してもあまり変わらないと思います。

設定画面で、これ以外の項目は触らないでください。

“Play!”ボタンを押すとゲーム画面になります。後の操作は画面を見れば分かるでしょう。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

【インストール】

「どんでん」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「どんでん」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROMへの掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「どんでん」は、Unity2017.4.40f1で作成されています。

以下の素材は第三者による物で、著作権は提供者さんが保持しています。

一部のグラフィック素材 (c)AriAru

【バージョン履歴】

2022.01.26 11.1.0

細かな動作の調整

2021.09.01 11.0.2

細かな動作の調整

2021.05.25 11.0.1

内部処理の調整

2020.11.28 11.0.0

Unity2017に移行

2019.10.29 10.6.1

内部処理の改善

2019.07.14 10.6.0

総合成績の追加

音量調節の追加

手詰まり判定の追加

ブロックデザイン選択操作の変更

ゲーム初期化処理の調整

内部処理の調整

2018.12.31 10.5.3
内部処理の調整

2018.01.11 10.5.2
内部処理の調整

2018.01.05 10.5.1 (非公開)
デザインの微調整
内部処理の調整

2016.06.01 10.5.0
ゲーム初期化処理の変更
効果音の追加・調整
内部処理の調整

2014.05.06 10.4.0
ブロックデザインの調整
内部処理の調整

2014.02.28 10.3.1
内部処理の調整

2014.01.30 10.3.0
ブロック個数表示の追加
細かな動作の調整
グラフィック素材の調整
内部処理の調整

2013.10.02 10.2.1
内部処理の調整

2013.07.13 10.2.0
得点機能の追加

2013.06.15 10.1.0
完成表示の追加

2013.06.04 10.0.0
初版

2022.1.26 竹内 (Macの変人) 喜代志